



卒業生ならびにご家族の皆様、
ご卒業心よりお慶び申し上げます。



桜花爛漫、青天の下、本日ここに、
ご来賓の河村たかし名古屋市長、
福田誠治市議会副議長をはじめ、ご
来賓のご臨席を賜わり、教職員一同
とともに、1003名の卒業生に卒業
証書、学位記を授与する運びとな
りました。1000名を越える卒業
生は初めてのことで、名市大が着実
に発展を遂げていることに深く感謝
いたしております。



本日の式辞では皆さんに、名市大
の思い出を鮮明にとどめ、「愛校心」
を高めていただきたく、大きなスラ
イドを用意しました。

私たち教職員は、ご家族と共に、皆
さんが名市大から社会に大きく羽ば
たかれることを「誇り」に思っていま
す。

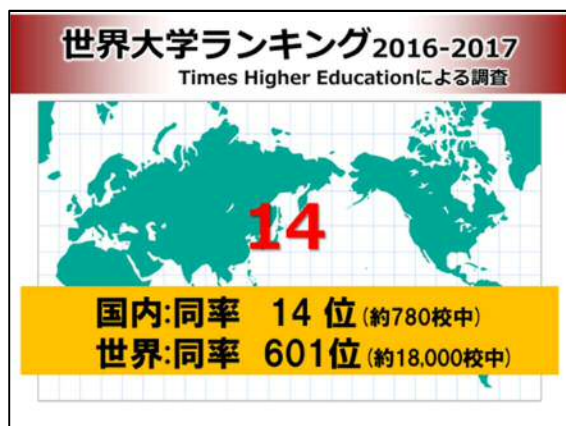


名市大は、3年前に策定した「名市大未来プラン」の4つのビジョンの一つに、「誇りを持ち、愛される名市大」を掲げています。このビジョンの実現に向け、名市大は日々努めているところです。

この数字は？

14

その成果でしょうか、名市大は「14」の数字をいただきました。



「14」には2つの意味があります。一つは、Times Higher Educationというイギリスの調査機関による「世界大学ランキング」で、名市大は、世界では同率601位、国内では同率14位でした。

世界大学ランキングとは、研究力、教育力、外部資金、国際化などを評価するもので、名市大はそれらにおいて、トップ数%の大学だと認められたのです。



もう一つの「14」は、日経新聞の調査による「地域貢献度ランキング」で、名市大は全国14位でした。



皆さん、このように全国でも有数の名市大で学んだ「誇り」を持つとともに、社会をリードする立場になる自覚と「責任」の重さを持っていただきたいと思います。



ここで、名市大の学生が取り組んだ活動を紹介します。

はじめは、名古屋市大学生消防団が、地域の防火・防災に貢献し、昨年総務大臣から感謝状を授与されたことです。マスコミでも大きく取り上げられました。



次には、4年前から、文科省の支援を得て行っている「なごやかモデル」です。

医・薬・看の学生が一体となり、超高齢社会において理想とする医療・介護を、緑区で教育研究しています。この成果は、「名市大モデル」として全国に波及することでしょう。



名市大は、ご家庭と連携しながら学生教育に当たっています。スライドは薬学部における「ペアレンツ・カミングデー」の様子で、340名ものペアレンツにお越しいただき、名市大へのご理解とご支援をいただきました。



名市大生は、学生時代から研究に精力的に取り組み成果を挙げています。その1つは、薬学部の学生が精神疾患の解明に寄与したことで学会から表彰を受けたことです。

名市大生の旅行企画が商品化



グランプリ
「おとなの修学旅行」



審査員特別賞「孫旅」
最終プレゼンの様子

名市大生が応募した旅行商品が旅行プランに採用され受賞しました。グランプリは経済学部生のユニークなプラン「おとなの修学旅行」、審査員特別賞は経済学部生の「孫旅」。是非、皆さんもご利用ください。

ようこそ大学へ！プロジェクト -施設の子どもたちへの学習支援-



名市大生は、施設や里親の子どもたちへの学習支援を積極的に行っています。その一つは「ようこそ大学へ！プロジェクト」で、名古屋市子ども青少年局と連携し3年前から夏休みに、児童を名市大に招き、教職員とともに支援をしています。

子どもの貧困率が17%に増えた現在、名市大生の活動は社会から注目されています。

開学65周年記念映画「夢時計」

会場：ミッドランドスクエアシネマ



芸術工学部では、開学65周年を記念して映画、「夢時計」を制作しました。開学当時の名市大生を描いたもので、学生生活に困窮する中であっても、65年後の未来の学生、すなわち皆さんに大きな夢を托す物語です。ミッドランドスクエアや学内で上映されました。



昨年、投票年齢が18歳に繰り下がったことに伴い、名市大のキャンパス内に期日前投票所を設け、学生が投票管理者や立会人を務めました。このユニークな取り組みはNHKの全国ニュースでも取り上げられ、学会からは「現代政治コンペ優秀賞」を受賞しました。



世界に目を向ける学生が増えています。スライドは、文科省のプロジェクト「トビタテ！留学JAPAN」に採用され、ロンドンのTWINING紅茶の本社で、日本茶のテイスティングを紹介している、名市大生です。



東日本大震災から6年、名市大では、大学の特性を生かした支援をしてきました。

その一つはこの動画で、船舶が津波でビルに乗り上げてしまった惨状を、CG技術を酷使して芸術工学部が再現したものです。大震災を風化させないとの強い思いです。



東日本大震災の被災地のひとつ陸前高田市からは、看護学部には毎年2名の学生を迎え、本日は、待望の1期生を送り出します。苦節の6年と名市大での修学を糧に、地元で中心的な看護師や助産師として医療を担ってください。



震災と言えば、昨年4月の熊本地震には、名市大から多くの医療スタッフが現地に行きました。

一方、熊本出身の学生は、名市大生約100名と募金活動をおこない、また3年前にはフィリピンへの救援募金をしています。

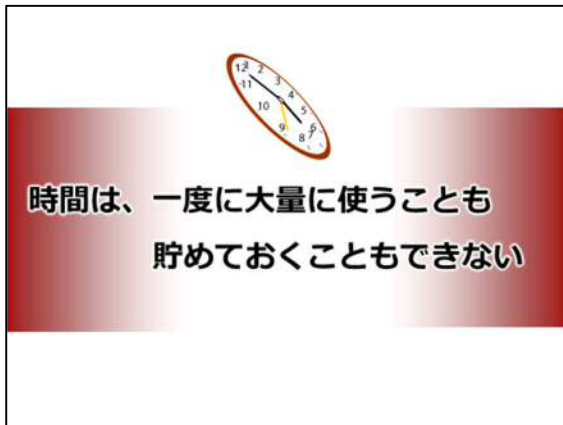


本日は、学生のすべての活動を紹介できませんが、私は、式辞を準備しながら学生の成長を思い起こし鳥肌が立ちました。

ご父兄の皆さん、よろしければ、すべての卒業生に、これまでの努力を称え、これからの人生に幸多かれとの想いをこめて、盛大なる拍手をお願いできないでしょうか。

(盛大な拍手)

有り難うございました。



名市大から巣立つ皆さんに3つの言葉を送ります。

1つ目は、若者の特典は十分な時間があることです。しかし時間は、お金のように一度に大量を使うことも、貯めておくこともできません。毎日地道に時間を使うことが人生の成功の秘訣だと思います。



2つ目は、チームワークです。

昨年のオリンピック、感動と勇気をもたらしたのは、400メートルリレー、女子卓球、男子体操などで、それらはすべて個人のカをチームのカにしたものでした。

昨日までのWBC、侍ジャパンの活躍にも感動し、チームワークの大切さを学びました。



チームワークと言えば、開学65周年を記念して、愛知県芸術文化センターで、本学の管弦楽団、教職員、学生らが奏でたベートーベン第九は、美しくも力強い一体感ある合唱で、1700名の観衆を感動の輪で魅了しました。

YouTubeにアップしていますので、是非お聞きください。



3つ目は、「凌雲之志」です。皆さんの人生はこれからです。大きな志を持っていただきたく、心を込めて「凌雲之志」を揮毫しました。

名市大はこれからも、輝かしい伝統のもと、学生と教職員が一体となり、名古屋市や同窓会のご支援を賜りながら、世界に冠たる大学を目指して飛躍してまいります。

皆さんは母校に誇りと愛校心を持ち、社会で羽ばたかれる逸材になれることを心より願います。学長式辞といたします。

ご卒業おめでとうございます。

平成29年3月24日

名古屋市立大学 学長
郡 健二郎